

令和4年度 学校経営計画

1 教育目標

生徒一人一人の健康でたくましい身体、個性を生かした創造的な知性と技能、豊かな心、正しい社会連帯意識を養い、自己実現を通して持続可能な社会の創り手となることができる人間を育成する。

(1) 基本目標及び具体目標（具体的な生徒像）

基本目標	具体目標（具体的な生徒像）
① 健康で気力のある生徒を育成する。	① 気力あふれるたくましい生徒
② 学力豊かで創造力のある生徒を育成する。	② 自ら学び考える生徒
③ 勤労を尊び責任感のある生徒を育成する。	③ 進んで仕事をする生徒
④ 国際感覚に秀で思いやりのある生徒を育成する。	④ 豊かな心と思いやりのある生徒

2 学校経営の理念

(1) 友・先生との出会い、打ち込むものとの出会い、感動との出会いなどを大切にし、生徒の「自己肯定感」を高め、生徒にとって、かけがえのない中学校生活を謳歌できるよう指導・支援をする。「生徒がいきる」そして、「学校が楽しい」と生徒が真に思える学校づくりを目指す。

(2) グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により急速に変化するこれからの社会を生き抜く生徒一人一人の確かな成長のためには、学習がよく分かる喜び、自分の役割が分かり居がいのある喜び、友達や先生と心が通い合う喜びを味わわせること、さらに学んだことをもとに課題を解決する力や創造する力を身につけさせることが大切である。そのためには、本校の伝統と校風を受け継ぎつつ、全ての教職員が組織の一員としての自覚を持ち、個々の能力を発揮するとともに、互いに研鑽し合い、同一歩調で指導を行っていくことが不可欠である。また、保護者・地域の方々にとっても、学校が安心感のもてる所であるとともに、学校に積極的に関わっていただくことで、保護者・地域の方々が持つ力（教育力）を十分に発揮できる場であることが必要である。そこで、「生徒がいきる」教育活動を推進するため、学校・保護者・地域の連携を強化し、「教師がいきる」「保護者がいきる」「地域がいきる」学校づくりを目指す。



3 学校経営の方針

今年度のスローガン「気づく、つながる、創り出す」

教育目標や今年度のスローガンの具現化を図るため、昨年度の振り返りや学校評価・外部評価等を生かし、課題解決を図りながら、より良い学校経営に全校体制で取り組む。

(1) 確かな学力の定着

- ・学習指導要領に基づく「本時のねらい」を明確に示した授業の展開、自らの考えを進んで表出する活動の推進、個に応じた指導の工夫（TT、習熟度別学習）、さらには、ねらいに即した振り返りを実践することにより、基礎的・基本的な知識・技能や思考力・判断力・表現力等を育成し、確かな学力の定着を図る。

(2) 心の教育の推進（豊かな人間性の育成）

- ・心に響く道徳の授業（考えさせ議論する指導を充実）、読書活動、あいさつ運動、人権教育、国際理解教育、福祉教育等の充実を図り、教育活動全体を通して、やさしさと思いやりにあふれた心の教育を推進する。
- ・学校行事、部活動、体験活動における主体的な活動を通して、社会性を育む。
- ・生徒会活動、学級会活動、班活動等における主体的な活動を通して、自治の意識を高める。

- (3) 生徒指導の充実
 - ・生徒とのコミュニケーションを重視し、信頼関係の構築に努める。
 - ・差別、偏見、いじめ、暴力を許さない安心・安全な学校づくりに努める。
 - ・生徒の自主・自律の精神を培うために、「育てる生徒指導」（自己教育力・自己肯定感の育成）の推進を図る。
 - ・問題行動の未然防止、早期発見、解決に向けて、家庭や他機関との連携を図りながら、組織的な取組を推進する。
- (4) 健康・体力の向上
 - ・食育の充実と健康的な生活を送るための指導の充実を図る。
 - ・新体力テストの結果を活用し、課題を明確にとらえてその解決を図るとともに、進んで運動に取り組む態度の育成を図る。
- (5) 特別支援教育と教育相談の充実
 - ・生徒一人一人のニーズに対応した教育支援の充実が図れるよう、校内支援委員会等の機能を生かして組織的に取り組む。
 - ・不登校の防止や解消、生徒一人一人の悩みの解消と明るい学校生活を実現するために、教育相談の意図的・計画的な実施と教職員のスキルの向上を図る。
- (6) キャリア教育の充実
 - ・キャリア・パスポートの活用を通して、将来の生き方を考え適切な進路を選択する能力を育てる。
 - ・社会体験学習を充実させ、望ましい勤労観・職業観を育むとともに、生徒が自己の適性を探求し、職業を通して社会に貢献しようとする意欲を培う。
- (7) 家庭・地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進
 - ・地域の教育力を生かし、家庭・地域社会との連携と開かれた学校づくりに努める。
- (8) 教職員の使命感と資質の向上・働き方の意識向上
 - ・時代や生徒、保護者のニーズに応えるため、教職員としての使命を深く自覚し、協働体制のもとに各自の特性の発揮と資質の向上に努める。
 - ・働き方改革を推進して業務の適正化に努め、健康と安全管理に配慮する。

[星が丘地域学校園教育ビジョン]

未来を見つめ、学び続ける力の育成
～星が丘地域学校園の学校文化を築くことを通して～

4 教育課程編成の方針

今年度からの3か年に渡る校舎改修工事においても変わらぬ教育機会の確保に努めるとともに、持続可能な社会の創り手の育成を目指し、SDGsに係る学びを総合的な学習の時間や特別活動を中心に教科横断的に行い、さらに地域と連携し地域の教育力を活用できるよう教育課程を工夫する。

5 今年度の重点目標 (「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○)

(1) 学校運営

- 生徒の自己肯定感を高める、創造的な学校経営の推進
「認め合い、学び合い、高め合う生徒の育成」

【重点項目】①新型コロナウイルス感染症対策（感染予防対策の徹底、行事等実施に向けた工夫）
②学力向上対策（二極化対策、端末の積極的な活用） ③健康・安全・体力対策
④不登校対策（新たな不登校を生まない温かく居がいのある学級経営）
⑤地域と共にある学校づくり（魅力ある学校づくり地域協議会との連携強化）
⑥教職員研修の充実 ⑦働き方改革（時間管理の意識の高揚）

(2) 学習指導

- 自らの考えを進んで表出する生徒の育成
- ・本時のねらいを共有し、目的をもって学ぶ生徒の育成

(3) 生徒指導

- ・家庭や地域との連携を深め、心豊かで思いやりのある生徒の育成
- ・価値のある称賛と励ましを通して、自己肯定感や誇りを持てる生徒の育成
(努力を認める、達成状況を褒める、次に向けて励ます)【認めて、褒めて、励まして】
の3指導の徹底)

(4) 健康(保健安全・食育)・体力(元気アップ教育に係る取組を含む)

- ・自己の健康、体力の状況を的確に理解するとともに、安全を意識し、進んで健康、体力の向上に励むたくましい生徒の育成
- ・食に対して関心を持ち、健康的な食事の在り方を自ら考え、実践できる生徒の育成

6 特色ある学校づくりに関する取組

テーマ「持続可能な社会の創り手となる生徒の育成 ～SDGsに係る取組をとおして～」

【目指す生徒】

- ・自らの考えや根拠のある意見をもって社会に参画できる生徒
- ・多様な文化、習慣、考え方を尊重し、共に生きることができる生徒
- ・自ら課題を見つけ、物事を多面的に考えられる生徒
- ・自ら進んで調査し発表することができる生徒
- ・一人の市民として、より良い社会づくりに協働して参画できる生徒

(1) 育てたい資質・能力

- ①未来像を予測して計画を立てる力、 ②多面的・総合的に考える力、
- ③コミュニケーション力、 ④他者と協力する力、 ⑤表現・発信する力、
- ⑥つながりを尊重する態度、 ⑦進んで参加する態度

(2) 具体的取組(提案型予算「頑張る学校プロジェクト」関連には文頭に◇)

①総合的な学習の時間での実践

- ・(1年生)SDGsを知る取組【気づく】研究テーマの決定
- ・(2年生)地域・社会と関わる取組【つながる】解決策の検討
- ・(3年生)地域に貢献する取組【創り出す】具体活動の実践
- ・宇都宮学の学習を通して、地域学習及び地域に貢献する活動の実践

②生徒会活動での実践

- ・各委員会でのSDGsに係る取組の実践 ◇学習発表会での実践発表

③地域と連携した活動での実践

- ・魅力ある学校づくり地域協議会との連携強化
- ◇地域をフィールドとした調査研究活動及び地域の学習資源を活用した活動の充実
- ◇地域人材を活用した講演会、出前授業等の実施

④教科横断的な取組等での実践

- ・SDGsに係る各教科での学習内容を把握しての授業実践
- ・図書室書籍の整備 ・SDGsコーナーの設置 ・SDGsに係る新聞等への生徒の意見投稿

7 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり(「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」)

①基本的考え

特色ある学校づくり、各教科の学習や学校行事、生徒指導、学校の環境整備等、様々な教育活動の充実のため、学校は家庭・地域と積極的に連携する。特に、魅力ある学校づくり地域協議会においては、家庭や地域が学校と一体となって取り組む内容について、企画運営等を推進する。

②主な取組

ア 地域協議会の活性化

- ・学校ボランティア(図書ボランティア、花壇づくりボランティア等)の充実

- ・地域行事への積極的な参加・協力（生徒のボランティア活動等）
- イ 「地域」をテーマにした総合的な学習の時間の充実
 - 1年生：地域を知る 2年生：地域に学ぶ 3年生：地域に貢献する

(2) 小中一貫教育・地域学校園

① 基本的考え

星が丘地域学校園教育ビジョンのもと、運営会議を核として、5つの部会(交流推進、学習、健康・体力、生活、地域学校園事務室)に分かれて運営する。さらに部会ごとに分科会を設け、年間活動計画をもとに各活動の実践を行い、相互に情報を共有する。

② 主な取組

- ア 地域学校園の全体研修や各部会・分科会の充実
- イ 小中一貫教育カリキュラムに関する取組の充実
 - ・9年間の系統的な指導を図るための各教科の年間指導計画の見直しと実践を通じた改善
 - ・「宮っ子心の教育」「宮・未来キャリア教育」「元気アップ教育」の年間指導計画の整備・充実
- ウ 乗り入れ授業の精選
 - ・数学科、英語科での乗り入れ授業の実施
 - ・小学校の外国語活動・外国語における中学校英語科教員の授業参画の工夫

(3) 不登校対策

① 基本的考え

互いを尊重し合う温かな人間関係の構築と新たな不登校を生まない集団づくりを推進する。

② 主な取組

- ア 不登校を生まない居がいのある温かい雰囲気での学級経営
- イ 時間割に位置づけた校内教育相談部会を活用した情報の共有と組織的な早期対応の推進
- ウ 関係機関との連携によるケース会議の実施と不登校生徒へのアプローチの工夫
- エ ステップアップルームのさらなる組織的な運用と端末を活用した指導支援
- オ 生徒主体のいじめ根絶集会や道徳の授業等での規範意識や正義感、思いやりの心の育成

(4) G I G A スクール構想

① 基本的考え

端末を文具の1つとして、授業内外での日常的な活用、授業における協働学習ソフトの活用、探究的な学びの促進へと段階的に活用を進める。

② 主な取組

- ア 使用ルールの策定と活用にあたっての課題解決
- イ 各教科授業での積極的な活用と効果のあった活用例の共有
- ウ 家庭学習での活用、出席停止・不登校等生徒のオンライン学習
- エ 学校行事等での積極的な活用
- オ I C T 支援員の活用、研修への積極的な参加、校内研修の実施

(5) 宇都宮学

① 基本的考え

郷土宇都宮の歴史や伝統文化、産業などについて、体系的な学習を通して、郷土愛を育むとともに、未来に向かって主体的に生きていくための資質・能力を育成する。

② 主な取組

- ア 「総合的な学習の時間」での実施と効果のあった授業展開例の共有
- イ 他教科、学校行事など全学校教育活動の中での指導
- ウ 地域との連携及び教育力の活用